

2018年度 第3四半期 決算補足資料

2019年2月14日

2018年度 第3四半期決算のポイント

(単位：百万円)

	2017年度 第3四半期累計		2018年度 第3四半期累計		増減		3Q (参考)		
							18年度3Q	対17年度3Q増減	
売上高	106,989	100.0%	110,601	100.0%	3,612	3.4%	38,351	1,992	5.5%
営業利益	2,868	2.7%	1,932	1.7%	△935	△32.6%	1,494	358	31.5%
経常利益	2,693	2.5%	1,981	1.8%	△712	△26.4%	1,638	523	46.9%
当期純利益	2,360	2.2%	△1,285	-	△3,645	-	△1,648	△2,753	-
EPS (円)	91.26		△49.63						

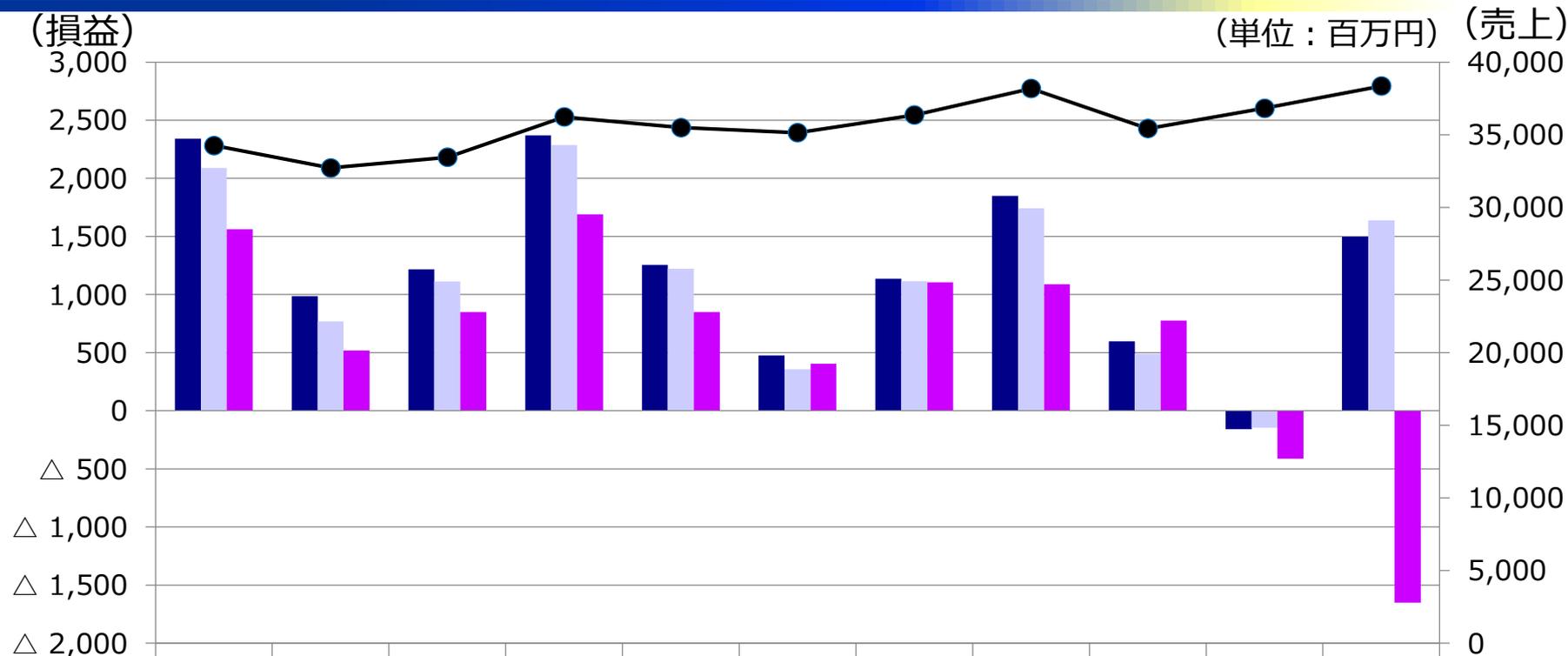
《2018年度第3四半期累計》

- 売上：アジアを中心とした受注量の増加等により増収
- 営業利益：第3四半期増益も、上期の燃料費上昇、米国の収益改善の遅れ、減価償却費増加等により累計は減益
- 経常利益：営業利益の減少により減益
- 当期純利益：第3四半期の特別損失計上に伴い減益

《2018年度3Q》

- 国内及びアジアの受注量増加により、増収増益を確保
- 米国の減損損失計上に伴い、当期純利益はマイナス

連結決算概要（四半期推移）



	16年度 1Q	16年度 2Q	16年度 3Q	16年度 4Q	17年度 1Q	17年度 2Q	17年度 3Q	17年度 4Q	18年度 1Q	18年度 * 2Q	18年度 3Q
■ 営業損益	2,340	986	1,216	2,370	1,255	477	1,136	1,850	596	△ 158	1,494
■ 経常損益	2,090	767	1,113	2,286	1,222	356	1,115	1,743	490	△ 147	1,638
■ 当期純損益	1,562	518	850	1,690	850	405	1,105	1,090	776	△ 413	△ 1,648
● 売上高	34,258	32,718	33,453	36,228	35,494	35,136	36,359	38,178	35,429	36,821	38,351

※ 18年度2Qは一時的な減価償却費の増加影響あり（影響額△645）

ダイカスト事業

(単位：百万円)

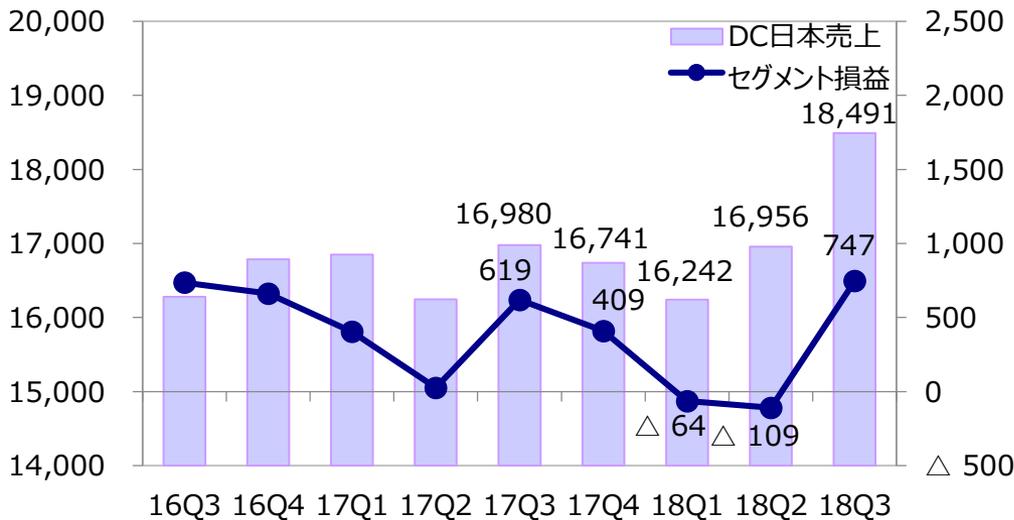
		2017年度 第3四半期		2018年度 第3四半期		増減	
日本	売上高	50,077	100.0%	51,689	100.0%	1,612	3.2%
	セグメント損益	1,049	2.1%	574	1.1%	△474	△45.2%
北米	売上高	30,158	100.0%	30,170	100.0%	11	—
	セグメント損益	151	0.5%	△283	△0.9%	△434	—
アジア	売上高	21,527	100.0%	22,899	100.0%	1,371	6.4%
	セグメント損益	1,283	6.0%	1,382	6.0%	99	7.7%

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2017年度3Q：50.8% ⇒ 2018年度3Q：50.6%

※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



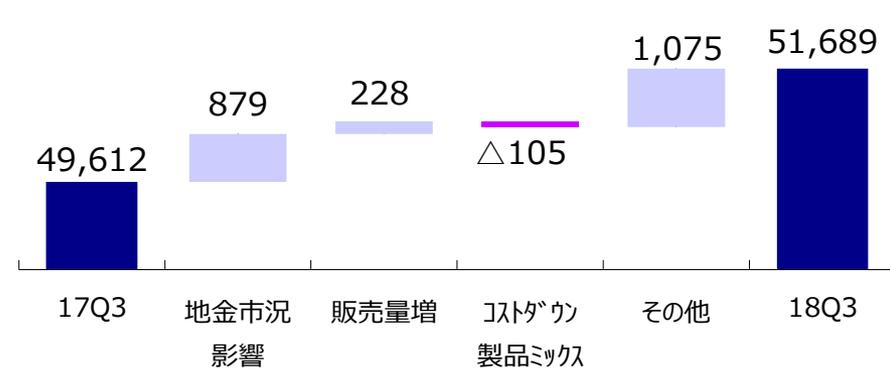
売上：16.1億円増（前期比3.2%増）

- 3Qの販売量は前期比4.3%増となり、累計ではほぼ前年同期並みに推移
- 売上高は地金市況の上昇、金型売上等もあり増加

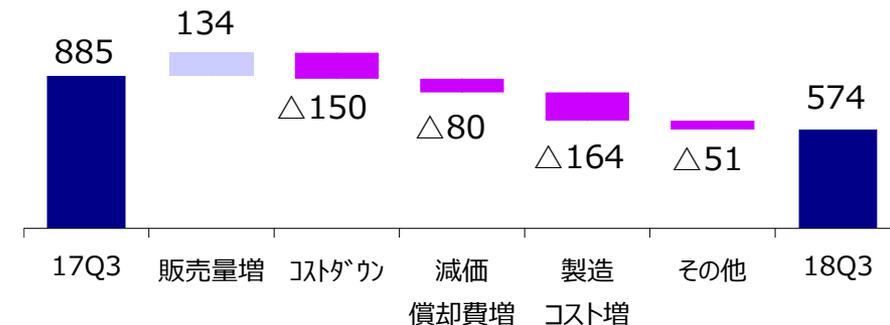
セグメント損益：4.7億円減（前期比45.2%減）

- 3Q収益は、販売量増により前年同期を上回る水準
- 累計では燃料費の上昇や減価償却費の増加等を受け減益だが、2Qに比べ損益改善

※売上高増減要因（単位：百万円）



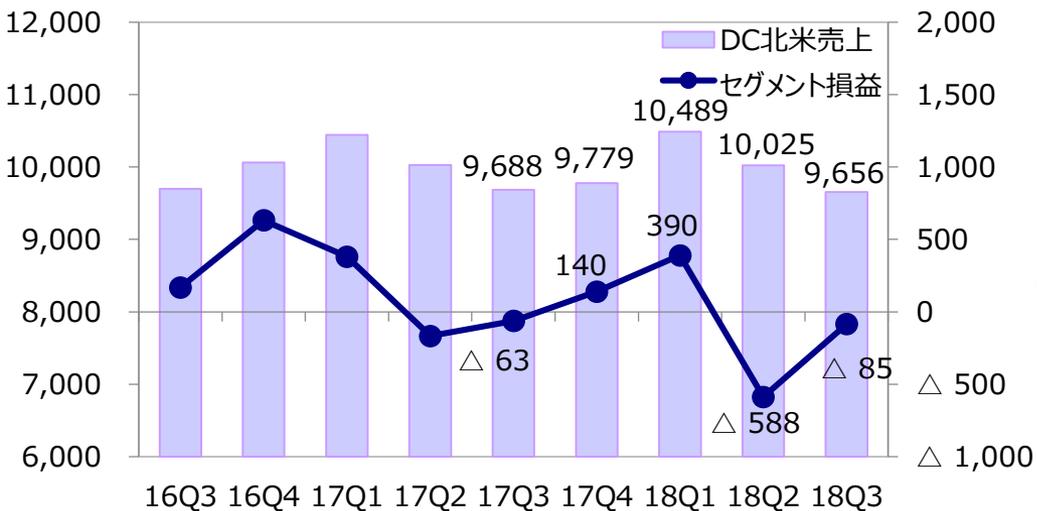
※セグメント損益増減要因（単位：百万円）



※17Q3の売上高・セグメント損益増減は決算期変更の影響額を除く

ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移 (単位：百万円)



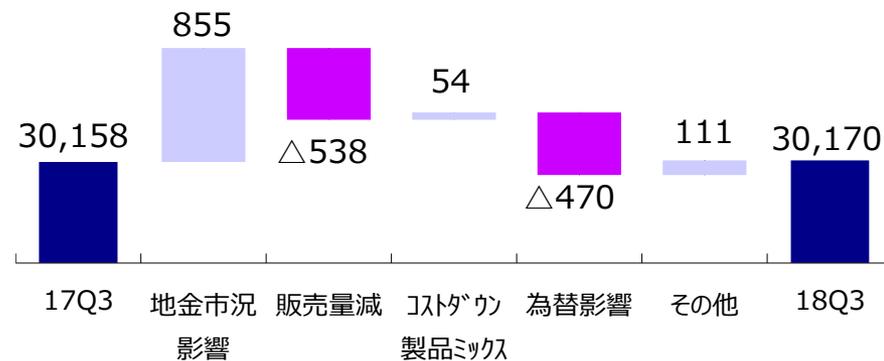
売上：0.1億円増（前期比 - ）

- ▶ 北米全体では販売量減となるが、地金市況の上昇もあり売上高は前年同期とほぼ横這い
- ▶ 販売量は、米国ではほぼ前年並みの一方でメキシコでは3Qがやや弱含み

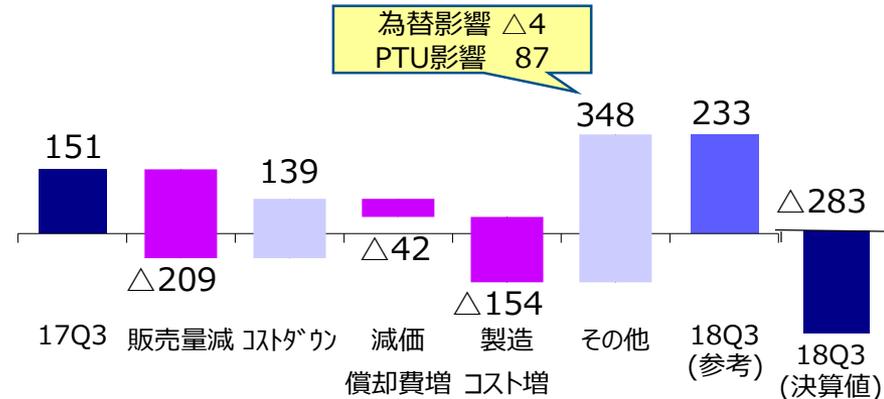
セグメント損益：4.3億円減（前期比 - ）

- ▶ 米国工場は改善プロジェクトの収益貢献に遅れ
- ▶ 一時的な減価償却費の増加等により減益

売上高増減要因 (単位：百万円)



セグメント損益増減要因 (単位：百万円)

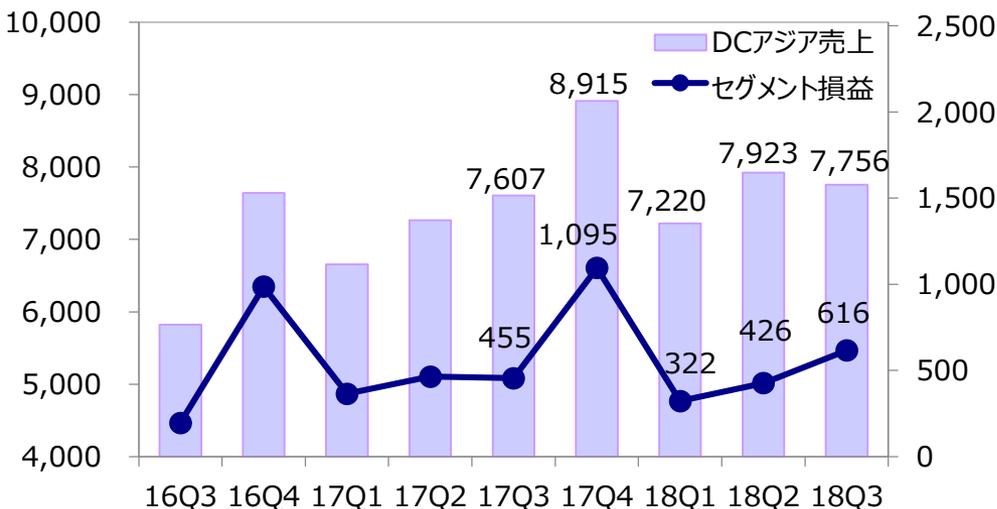


※参考は一時的な減価償却費の増加分を除いたセグメント損益

決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期
レート（17Q3⇒18Q3）アメリカ 111.83⇒110.82 メキシコ 112.28⇒109.98

ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：13.7億円増（前期比6.4%増）

- 中国は市場の減速感はあるが、主要顧客のSUV等が売上増加に寄与
- インドも自動車市場の拡大により受注増加
- 地金市況の上昇の影響もあり増収

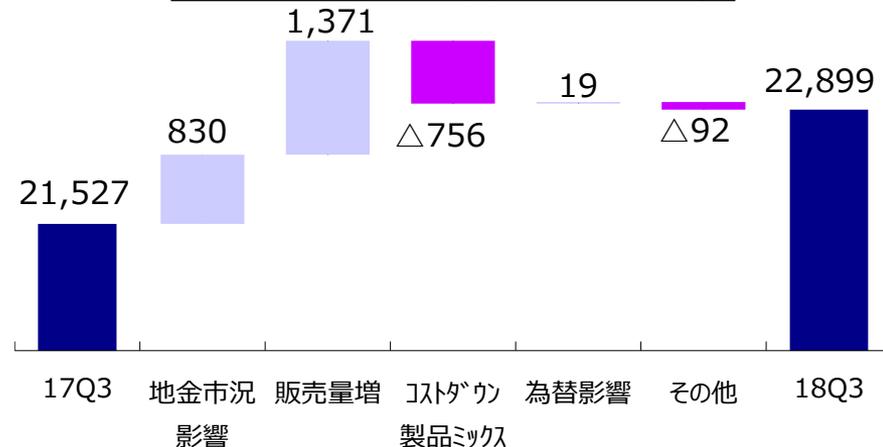
セグメント損益：0.8億円増（前期比6.3%増）

- 増収による増益効果等により増益

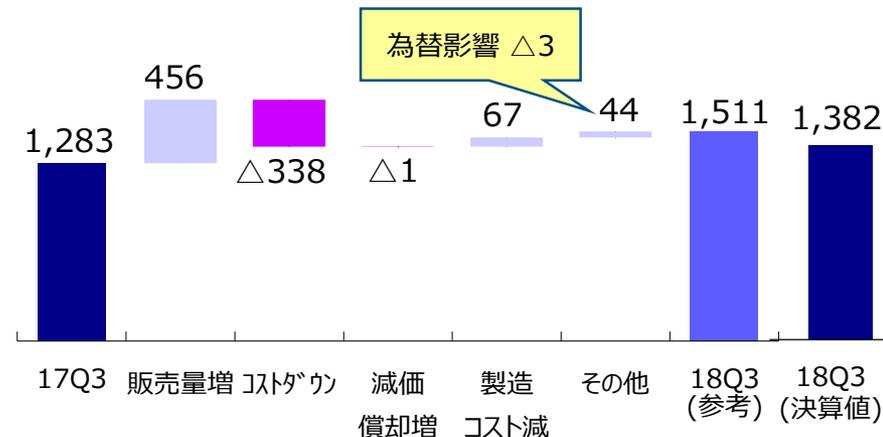
決算期：中国12月期、インド3月期

レート（17Q3⇒18Q3） 人民元 16.50⇒16.83 インドルピー 1.74⇒1.60

売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



※参考は一時的な減価償却費の増加分を除いたセグメント損益

アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2017年度 第3四半期		2018年度 第3四半期		増減	
アルミニウム 事業	売上高	3,432	100.0%	3,458	100.0%	26	0.8%
	セグメント損益	173	5.0%	72	2.1%	△101	△58.4%
完成品事業	売上高	1,792	100.0%	2,383	100.0%	590	32.9%
	セグメント損益	255	14.2%	232	9.8%	△22	△9.0%

アルミニウム事業

- 売上：販売量減もアルミ地金市況変動の影響を受け増収（前期比0.8%増）
- セグメント損益：地金市況上昇による原材料価格の影響等により減益（前期比58.4%減）

完成品事業

- 売上：クリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が増加（前期比32.9%増）
- セグメント損益：3Qの受注増により減益幅は2Qから改善（前期比9.0%減）

2018年度 業績予想

(単位：百万円)

	2017年度 実績		2018年度 公表計画(10/19)		2018年度 修正計画(2/14)		対公表計画増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	145,167	100%	149,300	100%	149,300	100%	—	—
営業利益	4,718	3.3%	3,100	2.1%	3,100	2.1%	—	—
経常利益	4,436	3.1%	3,150	2.1%	3,150	2.1%	—	—
当期純利益	3,450	2.4%	2,300	1.5%	200	0.1%	△2,100	△91.3%
EPS	133.40		88.80		7.72			
配当金 (円)	26.00		22.00		22.00			

計画前提レート：USD 107円 人民元 16.0円 ルピー 1.60円

業績予想の修正について

米国工場の改善プロジェクトの状況

- ・標準作業書の改善・訓練、業務内容の作業観察、評価を実施
- ⇒クレーム件数大幅に削減、プロジェクト対象製品の生産性改善、受注量はほぼ前年並みの水準
- ・米国の好況で歴史的な低失業率が続くなか、人的資源確保と定着については対策により徐々に効果

米国工場の資産評価見直し

- ・2019年度からの新中期経営計画に向けた攻めの経営への転換
- ・電動系部品の受注生産の拡大
- ⇒3Qで米国工場の事業用資産の評価の見直しを実施し、減損損失3,015百万円を計上

業績に与える影響について

2019年3月期 200百万円の当期純利益（公表値修正）

※ただし、売上高、営業利益、経常利益および配当金の見通しは据え置き

※2018年度3Qでの財務指標も健全性確保

自己資本比率 : 46.3% (2017年度末 46.9%)

ネット有利子負債（月商比） : 2.08ヶ月（同 2.39ヶ月）



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664
E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com
URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。